

令和3年の新春を迎え、謹んでごあいさつを申し上げます。旧年中、一般社団法人沖繩しまたて協会の活動に対し、皆様から深いご理解とご支援ご協力を賜りましたことに心より厚く御礼申し上げます。

建設産業界の皆様



### 安全で魅力ある 沖繩の地域づくりに邁進

(一社) 沖繩しまたて協会

理事長 木下 誠也

7月豪雨と大災害が多発しています。さらに、令和2年の初めから新型コロナウイルスが発生し、これまで経験したことのない流行となりました。沖繩でも首里城焼失という不幸な出来事に続いて、新型コロナウイルスの終息が見えない中、経済社会

ます。生産年齢人口が減少していく状況において、働き方改革を進めつつ、今後のインフラ整備を担う若者の確保・育成をしっかりと進めることが重要です。さらに、ウイルス感染を防止しつつ、労働生産性を向上させて質の高いインフラ整備・管

をおかれましては、思いを新たにこの新年の幕開けを迎えられたことと思えます。振り返ってみますと、東日本大震災以来地震災害が続いたほか、平成30年7月豪雨や令和元年10月台風19号による東日本水害に続き、令和2年

の先行きが見通せない状況が続いています。ICTの導入が一層有効になっていきます。近年、インフラ整備に対する逆風は終息し、必要な公共事業予算が確保されるようになってきた一方で、建設技術者・技能者といった建設産業の担い手不足が深刻化してい

理を行うために、ICTの導入が一層有効になっていきます。これらの取り組みを推進することにより、技術立国といわれたわが国の技術力を取り戻し、成長力を高め、魅力ある豊かで活力ある国づくりが実現すると

# 年頭所感

沖繩においても、安全・安心を確保するとともに、感染症を克服して交流拠点機能を強化し、そして首里城の早期再建を含め美しく個性豊かな文化を有する観光立県としての地域づくりに力を注ぐ必要があります。

沖繩しまたて協会は、これまでも防災はもとより、沖繩の風土・環境を守り、そして生かし、安全で快適な地域づくりの一端を担っているとの認識のもとに努力してまいりました。本年も引き続き協会役員一同一層職務に邁進、努力をしてまいります。

関係の皆様のご支援、ご指導、ご協力を

お願い申し上げます。ご挨拶いたします。